

会 議 録

審議会等名	令和3年度 第2回三条市学校給食運営委員会																							
公開の別	全部公開																							
開催日時	令和3年11月29日(月) 午後2時																							
開催場所	三条市役所 栄庁舎3階 大会議室	傍聴者の有無	有																					
出席	<p>委員 13 人</p> <p style="text-align: center;">小畑会長（裏館小学校長） 本間副会長（栄中学校長） 近藤委員（旭小学校長） 西澤委員（月岡小学校長） 唐沢委員（笹岡小学校長） 石田委員（井栗小 PTA） 佐藤委員（西鱒田小 PTA） 高橋委員（保内小 PTA） 田中委員（須頃小 PTA） 山上委員（栄北小 PTA） 五十嵐委員（本成寺中 PTA） 小松委員（大島中 PTA） 椛澤委員（三条市監査委員）</p> <p>事務局 22 人</p> <p style="text-align: center;">長谷川教育長</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%;">栗林教育部長</td> <td style="width: 33%;">野水教育総務課長</td> <td style="width: 33%;">熊倉小中一貫教育 推進課長</td> </tr> <tr> <td>坂井教育総務課課長補佐 兼共同調理場長</td> <td>渡邊一ノ木戸小学校長</td> <td>菅野大崎学園校長</td> </tr> <tr> <td>前田主任（教育総務課）</td> <td>外山一般任用技師 （教育総務課）</td> <td>小川栄養教諭 （嵐南共同調理場）</td> </tr> <tr> <td>長谷川栄養教諭 （嵐南共同調理場）</td> <td>池田栄養教諭 （裏館共同調理場）</td> <td>平原栄養教諭 （裏館共同調理場）</td> </tr> <tr> <td>権瓶栄養教諭 （栄共同調理場）</td> <td>伊佐栄養士 （下田共同調理場）</td> <td>三浦栄養教諭 （一ノ木戸小調理場）</td> </tr> <tr> <td>伊佐栄養教諭 （嵐南小調理場）</td> <td>早川栄養教諭 （大崎学園調理場）</td> <td>山田主事（教育総務課）</td> </tr> <tr> <td>丸山一般任用職員 （教育総務課）</td> <td>古澤一般任用職員 （教育総務課）</td> <td>内山一般任用職員 （教育総務課）</td> </tr> </table>			栗林教育部長	野水教育総務課長	熊倉小中一貫教育 推進課長	坂井教育総務課課長補佐 兼共同調理場長	渡邊一ノ木戸小学校長	菅野大崎学園校長	前田主任（教育総務課）	外山一般任用技師 （教育総務課）	小川栄養教諭 （嵐南共同調理場）	長谷川栄養教諭 （嵐南共同調理場）	池田栄養教諭 （裏館共同調理場）	平原栄養教諭 （裏館共同調理場）	権瓶栄養教諭 （栄共同調理場）	伊佐栄養士 （下田共同調理場）	三浦栄養教諭 （一ノ木戸小調理場）	伊佐栄養教諭 （嵐南小調理場）	早川栄養教諭 （大崎学園調理場）	山田主事（教育総務課）	丸山一般任用職員 （教育総務課）	古澤一般任用職員 （教育総務課）	内山一般任用職員 （教育総務課）
栗林教育部長	野水教育総務課長	熊倉小中一貫教育 推進課長																						
坂井教育総務課課長補佐 兼共同調理場長	渡邊一ノ木戸小学校長	菅野大崎学園校長																						
前田主任（教育総務課）	外山一般任用技師 （教育総務課）	小川栄養教諭 （嵐南共同調理場）																						
長谷川栄養教諭 （嵐南共同調理場）	池田栄養教諭 （裏館共同調理場）	平原栄養教諭 （裏館共同調理場）																						
権瓶栄養教諭 （栄共同調理場）	伊佐栄養士 （下田共同調理場）	三浦栄養教諭 （一ノ木戸小調理場）																						
伊佐栄養教諭 （嵐南小調理場）	早川栄養教諭 （大崎学園調理場）	山田主事（教育総務課）																						
丸山一般任用職員 （教育総務課）	古澤一般任用職員 （教育総務課）	内山一般任用職員 （教育総務課）																						
議題等	<p>(1) 令和4年度からの学校給食の変更内容及び給食費の検討について</p> <p>(2) その他</p>																							

<p>【開会前】 坂井場長</p>	<p>(配布資料の確認)</p>
<p>【開会】 小畑会長</p>	<p>午後2時 これより会議を開きます。 委員数18名のところ出席13名、欠席5名であり、委員の2分の1以上の出席をいただいておりますので、三条市学校給食運営委員会規則第6条の規定により、当会議が成立していることを御報告申し上げます。 私は、本日の進行を承ります、会長をさせていただいている裏館小学校の小畑一二美でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。 次第に沿って進めてまいりますので、御協力ください。 続きまして、2 教育長挨拶 長谷川教育長よろしくお願ひいたします。</p>
<p>長谷川教育長</p>	<p>本日は、令和3年度第2回三条市学校給食運営委員会に、大変御多用の中御出席いただきまして、誠にありがとうございます。あわせて、委員の皆様には、日頃から学校給食の運営につきまして、御理解と御協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。 御案内のとおり、この学校給食運営委員会は、学校給食の円滑かつ効果的な運営に関する事項につきまして、様々な角度から御審議いただく会でございます。本日も三条市の学校給食をより良いものにするために御意見を頂戴したいと考えております。 さて、御承知のとおり、学校給食は、適切な栄養の摂取による児童生徒の健康の保持増進を図ることや準備、会食、片付けなどを通して協働の精神を養い、学校生活を明るく豊かにするという目的を持っております。 また、日常生活における食事についての正しい理解を深めることや望ましい食生活、食べ物への感謝の気持ちを持つことなど、食に関する生きた教材として重要な役割を併せ持ってしております。 三条市では、学校給食を、子供たちが生涯を健康で生きるための力をつける「食育」として捉えた中で、安全、安心な給食の安定的な供給、献立内容の充実や食物アレルギーへの対応、地産地消の拡大などに積極的に取り組んでまいりました。 これからの学校給食におきましても、食育の重要性と学校給食の果たす役割を十分認識し、安全、安心でおいしい給食の提供と内容の充実に努めていかなければならないと考えております。 そうした意味におきまして、7月2日に開催いただきました第1回運営委員会におきまして、これまでの取組の成果と課題を検討いただいた中で、学校給食の目的の一つでもあります、子供たちの学校生活を「豊かにする」視点から、パン、麺の提供回数を増やすことと併せまして、学校給食の見直しを図るために総合的に検討するよう御決定をいただきました。 本日は、その変更内容とそのことに伴って給食費についても若干の影響がございますので、併せて御審議いただきたいと考えております。 子供たちの心と体の健やかな成長のために、また、学校給食の円滑な実施ができますように、御意見を頂戴したいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。本日は本当にありがとうございます。</p>

小畑会長	<p>ありがとうございました。 第1回目の委員会を経ての本日の内容についてもお話しいただきました。 パン、麺の回数、そして学校給食全体の見直しについて進めてきたという御説明でございましたけれども、委員の皆様からは審議における活発な御意見を頂戴したいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>それでは3 議題に入ります。 (1) 令和4年度からの学校給食の変更内容及び給食費の検討について事務局からの説明を求めます。</p>
野水課長	<p><野水教育総務課長説明></p>
小畑会長	<p>長時間にはなりましたが、丁寧な御説明ありがとうございました。 中身が大変多くなっておりますが、1、2ページではこれまでの経緯や見直しの視点が示され、3、4ページでは現状や改善策、5ページからは具体的な金額等について説明いただきました。 この案に沿いますと、結果として給食費が値上げとなり、そしてパン、麺、牛乳等の回数変更等も盛り込まれた内容になるわけですがけれども、その分、学校給食を通じた子供たちの学びも豊かになり、期待される効果も大きいといった趣旨の説明だったかと思えます。 今ほどの説明に対して、質疑等がありましたらお願いいたします。</p>
唐沢委員	<p>4ページ目において、牛乳の提供回数を増やす理由について説明されてあります。1点目の栄養摂取量を増やす点は理解できますけれども、2点目の牛乳の提供回数を増やすと食塩相当量が抑えられるとはどういうことでしょうか。</p>
坂井場長	<p>これまでですと、同じようにカルシウム等を摂取するに当たりまして、牛乳以外ですと、例えば小魚ですとか、塩分が含まれるおかずを提供してきました。 こうした塩分を抑えながら栄養を摂取するのに適しているのは牛乳であるということでございます。</p>
野水課長	<p>補足させていただきますと、今まで牛乳の提供がない部分についてカルシウム等を補おうとすると、そのための工夫として提供する料理については塩分を含んだものが多くなっていたところがございます。これを牛乳に置き換えることにより、塩分をできる限り抑えながらカルシウム等を摂ることができるということで、不足する栄養素等の摂取量を増やしつつ食塩相当量を抑えることができると考えたところでございます。</p>
小畑会長	<p>どうしてもカルシウム等を牛乳以外から摂ろうとすると、それに伴って塩分が入ったおかずが提供されやすくなっており、それを抑えるために牛乳を増やすというお話でございました。ありがとうございました。 その他質疑等ございますか。</p>
唐沢委員	<p>牛乳の提供回数が増えることで小魚の提供回数が減るという具体的なお答えを聞かせていただきました。それに関連しまして、6ページの「B 費用減少分」</p>

野水課長	<p>に記載のものが、牛乳が増えることによりなくなるという御説明と理解しました。</p> <p>塩分が多い小魚が、牛乳が増えることでなくなるように、飲むヨーグルト、ヨーグルト、チーズが給食からなくなるのかな、中学校ではヨーグルトとチーズの提供はそもそもなかったのかな、と受け取りましたがよろしいでしょうか。</p> <p>説明に不十分なところがありまして恐縮です。中学校から申しますと、ヨーグルト、チーズは現在も提供しておりますし、牛乳の提供回数を増やすことでそれらを減らすことは考えておりません。このことから、中学校の「B費用減少分」で、ヨーグルト、チーズは計上しておりません。これは、中学校は小学校よりも学校給食摂取基準の充足率が低い現状があるため、小学校と同様に減額してしまうとこの充足率向上を図ることができないことから、ヨーグルト、チーズの相当費用分は減額しないこととさせていただいているものでございます。</p> <p>一方で、小学校は、学校給食摂取基準を充足できている範囲において、「B費用減少分」に記載のものを減少させることにより、増加費用の影響を抑える形で調整をさせていただきたいと考えております。</p>
坂井場長	<p>補足させていただきます。基本的には今ほどの説明のとおりですが、楽しみの中という形では、ヨーグルトやチーズ等の提供がなくなるということではございませんので、申し添えます。</p>
小畑会長	<p>ヨーグルトやチーズの回数が減るといった理解でよろしいのでしょうか。</p>
坂井場長	<p>基本的に、牛乳に置き換えてきたものに関しての回数は減りますが、楽しみとして提供する分については全く提供しないというものではございません。献立の中で考えていくものと認識しております。</p>
唐沢委員	<p>例えば、ヨーグルトは年間10回減るということですが、現状では何回提供されているのでしょうか。</p> <p>つまりは、先ほどの説明にもあったように、「広がり」「多様な」という言葉の中で、牛乳が増えることでヨーグルトやチーズが減ることは、逆効果になってしまうのではないかという心配、意見です。</p>
前田主任	<p>現状では、ヨーグルト、チーズは月1回ずつ程度提供されています。小学校に関しては、牛乳の提供回数が増えることによって、カルシウム、エネルギー等の学校給食摂取基準の充足率がおおむね満たせる部分については、例えば、現状ヨーグルトとチーズが月1回ずつ提供されている場合、隔月で交互の提供とするとか、月によっては両方1回ずつ提供できることもあるかもしれませんが、そのように現状よりは回数を少し減らしての提供となると考えております。</p> <p>中学校につきましては、現状に牛乳の提供回数を増やしても、特にカルシウムについては基準を満たせない可能性が高いため、ヨーグルトやチーズは減らさない方向で考えております。</p> <p>ただ、栄養価に影響がない麦茶に関しては、提供しないということで考えております。</p> <p>先ほどの塩分の話に関連してきますが、例えば、カルシウムであれば小魚やチーズでも増やすことができますが、それらはエネルギーが高くありません。そこ</p>

	<p>で、牛乳の提供回数を増やすことで、カルシウムだけでなくエネルギーや、資料に記載はありませんがたんぱく質等の栄養も補うことができるので、やはり使いやすい食品であり、また、子供たちが飲みやすい食品であります。こうした様々な点を考慮し、牛乳の提供回数を増やすことが必要であると提案させていただいたところです。</p> <p>また、多様な食事という観点から、ヨーグルトやチーズの回数が減ることは逆効果ではないかという御意見につきましては、重く受け止め、献立構成を考える中で極力全く提供されないということにならないように配慮しつつ、子供たちがいろいろな食材を食べることができるよう、工夫していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>
小畑 会長	<p>給食の内容に加えて、費用的な負担をできるだけ減らすという様々な観点から考えた結果の事務局案であると思いますが、唐沢委員のお話にありましたように、主食だけで多様性を担保するというのではなく、全体として多様性を担保できるように配慮してほしいという意見であったと思いますので、事務局としても貴重な意見として受け止めていただいたと思いますがいかがでしょうか。</p>
野水 課長	<p>説明が舌足らずで大変申し訳ありませんでした。</p> <p>今ほど頂戴した御意見のとおり、主食だけ多様化すれば良いということではなく、全体を通しての視点として動いてまいりたいと思いますので、貴重な御意見として受け止めさせていただきます。ありがとうございました。</p>
小畑 会長	<p>その他質疑等ございますか。</p>
小松 委員	<p>2ページ目について、主食セレクトは児童生徒に事前に希望を聞くのか、当日選べるようにするのかどちらでしょうか。</p> <p>4ページ目について、牛乳の提供回数が小中共に月20回程度になるということは、つまり毎食程度牛乳が提供されることになると考えてよろしいでしょうか。</p> <p>5ページ目のパン、麺の提供回数増加による影響額について、小学校よりも中学校の方がパン、麺の提供量が多い中で、小麦パンのみ小学校よりも中学校の価格差が小さい理由を教えてくださいたいと思います。</p>
前田 主任	<p>1点目と2点目についてお答えします。</p> <p>主食セレクトの実施方法につきましては、現在、具体的な取組方法を検討しているところではございますが、御質問いただいた点につきましては、事前に希望をお聞きして、事前に聞いたものを当日配膳する方法を考えております。</p> <p>2点目につきましては、牛乳は原則毎日提供となります。ただ、月1回までいかないかもかもしれませんが、時々飲むヨーグルト等を提供することも考えております。</p>
小松 委員	<p>1点目については、事前に希望を聞くものと予想はしてはいたのですが、当日、事前に希望したものとは違うものを食べたいという子供もいるかもしれないと思いましたので、確認させていただきました。</p>
前田 主任	<p>そうしたことも考えられるとは思いますが、アレルギーの観点等もございます</p>

坂井場 長	<p>ので、事前に希望を取ってその希望したものを食べていただくということになります。</p> <p>違う主食を選んだ友達と「どうだった？」と聞き合いながら共有したり、お互い感想を言い合ったりできるような学習の仕方を進めていきたいと考えております。貴重な御意見として受け止めさせていただきます。ありがとうございます。</p> <p>3点目の小麦パンの価格につきましては、提供量の関係から中学校の方が単価が高くなっていることは事実でございます。ここで示している「見込差額」は、小学校、中学校それぞれの現在の米飯単価と小麦パンの来年度以降の見込単価との差額を計算した結果となっております。</p>
小畑 会 長	<p>この見込差額は現在の米飯単価を基準とした時にどのくらい価格が離れているかというものであり、小学校より中学校の方がパンのグラム数が多いということは事実として間違いのないということで捉えてよろしいでしょうか。</p>
野水 課 長	<p>提供するパンのグラム数は小学校より中学校の方が多設定で計算しております。</p>
小畑 会 長	<p>その他質疑等ございますか。</p>
本間 副 会 長	<p>2ページ目の「主食を選ぶ」ことについて、現場としては現実的かどうかという懸念があります。当日、子供たちが実際に御飯とパンを配膳するということは、現状からもう1品提供が増えることとなります。安全、安心に給食を準備させたいという教員側の観点から考えますと、教室環境で言えば現状の品数を並べるだけで一杯一杯であり、そこにもう1品追加することは厳しいので、こうしたことを踏まえてもう一度検討していただきたいと思っております。</p>
小畑 会 長	<p>先ほど事務局から主食セレクトの実施方法は検討中であるという説明もありましたが、現場の状況について情報提供をいただきました。事務局いかがでしょうか。</p>
前田 主 任	<p>現場からの貴重な御意見ありがとうございます。配膳台の問題の他、コンテナ室の問題もあり、様々な課題がある中で実施方法を考えておりますが、例えば、個々での選択が難しいのであれば、クラス単位で話し合って主食を選んでいただくとか、対象学年についても全学年ではなく、ある程度献立について学んだ学年を対象にさせていただくなど、実施方法を検討しているところでございます。</p> <p>お楽しみのセレクトデザートとは違い、献立や栄養といったところに少し踏み込んだセレクトを取り入れていきたいと考えており、今回、主食を選ぶという提案をさせていただいたところです。</p> <p>現場での混乱が起きないように、安全、安心な準備という視点もよく考えた上で実施させていただきたいと考えておりますし、現場にも相談させていただきながら取り組んでまいりたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>また、主食セレクトの目的といたしましては、自分で選ぶことも一つですが、同じおかずでも御飯とパンのどちらでも合うとか、自分だと御飯が合うと思う、パンが合うと思うということを考える等、そうした視点からも学びが多い取組と考えておりますので、よろしく願いいたします。</p>

唐 沢 委 員	<p>興味本位で聞くようで申し訳ありませんが、御飯にも合う、麺にも合うメニューとは何でしょうか。</p> <p>例えば、御飯とシチュー、パンとシチューであればわかりますが、麺と御飯のセレクト時の献立がイメージできないので、何かお持ちであれば聞かせていただきたいと思います。</p>
前 田 主 任	<p>例えば中華丼であれば、あんかけ焼きそば風という形で麺と絡めてもおいしいと思いますし、同じように麻婆麺、麻婆丼というセレクトも可能ではないかと考えております。</p>
小 畑 会 長	<p>その他質疑等ございますか。</p>
石 田 委 員	<p>僕が給食を食べていた頃よりも、恐らく栄養士の皆様は、基準や予算等を考えながら献立を作るのに難儀されているのではないかなと思いつつ聞かせていただきました。</p> <p>4 ページ目に学校給食摂取基準の充足率の向上とあります。その中の課題として、県内平均と比較して充足率が低いとありますが、この低さと言うのは1食当たりの提供ベースが少ないのか、残量が多く喫食量が少ないために摂取できていないという考え方なのか、どちらなのでしょう。</p>
前 田 主 任	<p>実は、県内平均と三条市としての数字の算出方法が異なっております。県内平均については喫食率を加味したものになっておりますので、残量が多いと充足率が低下します。一方、三条市は提供量の数字ですので、県内平均の喫食量と三条市の提供量を比較していることになります。</p> <p>この場合、喫食量で見ている県内平均と比較しても、資料に記載の3つの栄養素等に関しては、三条市の提供量が少ないということが見えてまいりましたので、県内平均の提供量と比較すると更に差は広がるものと考えております。</p>
石 田 委 員	<p>実際に残量をどのような形で確認されているかわかりませんが、給食を残さず食べることができるように、今回の改定のように様々なメニューの提供というのも一つの方法だと思いますが、何か改善策はありますでしょうか。</p>
前 田 主 任	<p>残量を減らすという点で言えば、今年度については残量調査をちょうど今月させていただきます、現在集計をまとめているところです。この残量調査に限らず、調理場では毎日、残量を確認しております。その中で残量が多かった料理等につきましては、その都度、どうすれば残量が減るのか検討し、味付けや使用する食材、調理方法等も日々見直して実施しております。子供たちの食べ方なども確認しながら、少しでも残量を減らせるように今後も取り組んでまいります。</p>
小 畑 会 長	<p>毎日の給食については、各学校現場でも検食等により様々な意見を調理場にお渡しする機会があるわけですが、そうした機会でも味付けや食材についての意見も恐らく多く寄せられているものと思います。そうしたことは、食べやすさや残量の減少といったことに直結する大きな課題だと私はいつも思っております。そうしたところへも細かく目を行き届かせながら、残量が減るような取組についても御尽力いただきたいという御意見かと思っておりますので、よろしく願います。</p>

<p>本間副会長</p>	<p>たします。 その他質疑等ございますか。</p> <p>直近で提供されたパンについて、パサパサした状態で子供たちも食べにくかったのではないかと感じたところです。地産地消という狙いも理解できますが、提供前には試食等していただいて、米粉パン等もありますのでそうしたところも含めて提供内容の検討をお願いしたいと思います。</p> <p>また、来年度から麺の提供回数が増えるということがあります。今年度も何度か麺は提供されましたが、麺を器に入れようとすると、現在使用している器が小さいため、麺をちぎって入れる必要があります。麺以外でも、「かみかみ井の具」というような御飯の上に乗せて食べる献立もよく提供されますが、御飯茶碗が小さいため、具を实际乗せて食べることが難しい状況です。</p> <p>こうしたことから、今後、麺の提供が増えるということもありますので、お願いとなりますが、予算措置をしていただいて井（どんぶり）を買っていただくことはできないでしょうか。</p>
<p>野水課長</p>	<p>率直な御意見をいただきました。私どもも、今後提供していくメニューを広げていくに当たり、先ほどもお話がありましたが、提供したものをしっかり喫食していただくことで栄養摂取率が高まるわけですので、提供したものをおいしく召し上がっていただく必要があると考えております。そうした中、今ほど本間委員がおっしゃられたようなことが現場で少なからず起きているということであれば、一朝一夕にというわけにはいきませんが、献立の検討を行う中で、食器の在り方にも目を向け、総合的な観点から残量の減少へもつながるところかと思しますので、検討させていただきます。</p>
<p>長谷川教育長</p>	<p>器につきましては、3年前でしょうか、麺類の提供を始めるに当たり、ラーメンのように食べるには井（どんぶり）に盛って汁をかけて出来上がった状態で食べてもらうことが理想であることから、井（どんぶり）の購入を検討し、当時600万円程度で購入が可能ではないかという試算をいたしました。</p> <p>しかしながら、その食器を洗う機械、消毒保管庫等の施設も入れ替える必要があることが判明いたしました。さらには、学校へ届けるコンテナの台数も増え、学校側のスペース確保も難しいということで、教育総務課長が答えましたように、気持ちとしては井（どんぶり）を購入したいという思いは本当にあるのですが、一朝一夕ではできるものではないというのが現状でございます。私どもも工夫をして、なんとか子供たちに温かくておいしい給食を提供したい、このことは日々努力をさせていただきますので、井（どんぶり）については明日、来年に実現できることではないということは御理解いただいて、また色々な意味でお知恵をいただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。</p>
<p>小畑会長</p>	<p>小学校の場合は、一度で全て麺を器に入れるというよりも、わざと半分くらいにして、まずは半分を入れて汁とよく絡めて食べて、その後、残り半分をまた器に入れて食べるということはよくある状況ではあります。</p> <p>経費が掛かる部分はなかなか難しいところは理解できますので、学校現場でのそれぞれの工夫もどうしても必要になってくると感じたところでございます。</p> <p>各現場における工夫等も御期待申し上げたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。</p>

唐 沢 委 員	<p>その他質疑等ございますか。</p> <p>今まで、三条のおいしい御飯を食べさせていただいてきました。長年、三条に勤めていると、和食を大切にする三条であるといううたい文句が浸透していたと思います。和食を大切にする三条市、だしをとったみそ汁がどれだけの家庭で提供されているかというような問題提起もされていたかと思います。食育として、子供が食べたいものを提供するのではなく、子供たちに和食の良さを味わってほしい、そんな願いを、私は三条の誇りとして受け止めていた人間です。そのようなことが今回の改定でなくなってしまうようにお願いします。</p>
小 畑 会 長	<p>その他質疑等ございますか。</p> <p>しばらくして質疑等無いようですので、議題（１）の事務局案について異議があるかどうか確認をしたいと思います。</p> <p>事務局案について御異議がなければ拍手をもって賛同をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p><拍手あり></p>
小 畑 会 長	<p>ありがとうございました。拍手多数で、議題（１）「令和４年度からの学校給食の変更内容及び給食費の検討について」は、原案のとおり承認させていただきます。</p> <p>なお、いくつかの要望等もありましたので、十分踏まえての今後の対応をよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、（２）その他でございます。</p> <p>事務局から何かありますか。</p>
坂 井 場 長	<p>事務局からはございません。</p>
小 畑 会 長	<p>以上で予定されていた議題は終了しました。ありがとうございました。</p> <p>せっかくの機会でありますので、その他皆様から何かあればお出しいただきたいと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>しばらくして発言が無いようですので、議題を終了させていただきます。</p> <p>閉会に当たりまして、本間副会長から御挨拶をお願いいたします。</p>
本 間 副 会 長	<p>本日は御審議いただき大変ありがとうございました。子供たちは、給食の時間を大変楽しみにしておりますし、唐沢委員からお話があったように、三条市の歴史的な思いが込められた学校給食ということで、大変有り難いと感じております。</p> <p>コロナ禍ということで、子供たちは今でもまだ前を向いて黙食し、淡々と食べております。１日でも早く、楽しく会話をしながら食事ができる日が来ることを願っております。</p> <p>今回の改定では、いろいろなところで、子供たちが工夫できるように、また、「お楽しみ」という言葉が織り込まれておりましたので、そうした日が来ることを楽しみにしております。</p>

小畑会長	<p>本日は大変ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>以上をもちまして、令和3年度第2回三条市学校給食運営委員会を閉会します。</p> <p>皆様の御協力に感謝申し上げます。大変ありがとうございました。</p> <p>午後3時10分</p>
------	---